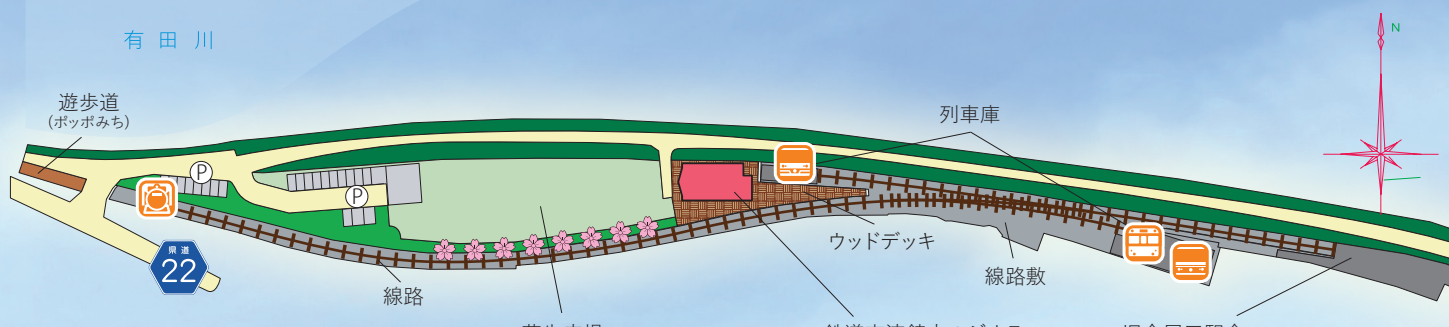
ようこそ、有田川鉄道公園へ

公園入口では「D51 1085」蒸気機関車がお出迎え。公園には芝生広場や、有田川町の風景を再現したジオラマが人気の鉄道交流館があります。また、東西に延びる400mの線路上では、往年の車両が皆さまのお越しをお待ちしております。



芝生広場

公園内には車両の形をした遊具やバスケットゴールもあります。
春には線路沿いの桜がきれいに咲きます。

鉄道交流館内のジオラマ

Nゲージのレールレンタル、HOゲージの見学ができます。

旧金屋口駅舎

旧有田鉄道時代の金屋口駅舎がそのまま残されており、当時の雰囲気を楽しむことができます。
※乗車体験時のみ入場可

キハ58 003

山梨県の富士急行より譲渡された車両で、同社が中央本線との直通用に投入した国鉄キハ58系のコピーである。国鉄にはなかった、製造時からの両運転台車（キハ58 003）があり、単行で営業運転ができたことから、有田鉄道では特にハイモ譲渡前の主力として用いられた。なお、有田鉄道導入時にエンジンを1台取り外しているので、実質はキハ28形相当の性能である。また、車籍なしとして他にもJRからキハ58を譲渡しており、これは部品取り用としていた。

経歴上、国鉄所有となったことはまったくないが、客室天井に設置の扇風機にはJNRのマークがあるなど、国鉄車と同一の部品を多く使用している。また、座席指定用の席番表示プレートが側窓上ではなく、シート背ずりの上部に貼付されているなど、国鉄車とは細かい相違がある。

ハイモ180-101

岐阜県の樽見鉄道から譲渡されたレールバスで、富士重工がローカル線向けの軽快気動車として開発したLE-CarIIの初の実用車である。塗装変更等の整備を受け1994年5月21日から運行を開始した。車内は通路を挟んで逆向きに固定シートとロングシートが並んでいる。有田鉄道線初の冷房装備車両で最末期の主力であった。

→「有田鉄道線」「フリー百科事典ウィキペディア日本語版」2009年10月24日 (UTC) URL https://ja.wikipedia.org/

フラワ1985-2

兵庫県の北条鉄道から御坊市の紀州鉄道を経て譲渡されたレールバスで、ハイモ180-101と同様に富士重工が開発したLE-CarIIシリーズの車両である。紀州鉄道では、キテツ-1として2000年から運用を開始した。
2017年3月14日午後9時、地域の方や鉄道愛好家に見送られながら紀伊御坊駅から搬出され、翌朝には有田川鉄道公園への搬入が完了し、紀州鉄道から有田川町へと車両が譲渡された。
その後、塗装変更や整備が行われ、2020年3月、北条鉄道で運用されていた姿となり、当公園で乗車体験等で運用されている。